



ザンビアの経済概況・月報(2013年6月)

主なマクロ経済指標	2012年	2013年
1. 人口 (百万人)	13.82	13.9 (2013 est)
2. 人口増加率 (%)	2.8	2.8 (2000-2010)
3. 失業率 (%)	13.0 (2010)	-
4. 平均寿命 (年齢)	-	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	20,680	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	23,680	21,360 (2013 est)
7. GDP成長率 (%)	6.1 ~ 6.5	6.9 (2013 est)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1	-
9. インフレ率 (%)	6.57	7.3 (June)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	126.1 (Dec)	131.13 (June)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	1,067	50.38 (May)*2
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-97.48*4	-7.68 (May)*3
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	8,346	913.72 (May)*2
14. 対日輸出 (百万米ドル)	50.45*4	2.74 (May)*3
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	7,279	863.35 (May)*2
16. 対日輸入 (百万米ドル)	147.94*4	10.42 (May)*3
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,048	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	3,448 (2011)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	12,932 (2011)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,616 (2012末)	-
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	5,445 (2012末)	-
22. 為替レート (対米ドル)	5,100 ZMK	5.42 ZMW(June)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.09	9.25 (May)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2 1USD=5.32 ZMW(2013年5月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3 1USD=95円(2013年5月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2' <2013年5月>
*3' 主要輸出品目: 銅/コバルト/マンガン, 綿花, 食料品(メイズ等), 飲料(酒類等)
主要貿易相手国(輸出): スイス 34.1%, 中国 20.6%, コンゴ(民) 12.5%, 南アフリカ 9.3%, アラブ首長国連邦 8.1%
主要輸入品目: 銅/コバルト関連品, 機械類, 建造物関連, 油製品
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 29.6%, コンゴ(民) 19.8%, 中国 12.4%, ケニア 7.4%, ドイツ 3.2%
*4 1USD=79円(2012年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。

<出典>

1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA) / 3.-4.: Census 2010 / 8.: UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO) / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17., 20.-21.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 22.-23.: Bank of Zambia

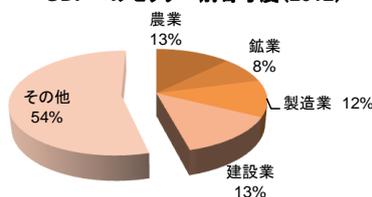
<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料(Mineral Royalty):** 6%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0 - 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPへのセクター別寄与度(2012)



(出典: ザンビア開発庁(ZDA)ホームページ)

主要な経済ニュース(6月)

1. “日本の概念:「緑の生産性」、チエンダ商業通商産業大臣に感銘を与える”(Post, 3日)
エマニュエル・チエンダ商業通商産業大臣は、日本の概念である「緑の生産性」が経済発展の加速化を追求するという点で、ザンビアにとって魅力的であると述べた。(注:「緑の生産性」とは、生産性向上と環境保全の両立を実現させるための戦略(アジア生産性機構)。)
同大臣は、アフリカ諸国における技術的生産性向上について議論する、第5回アフリカ開発会議(TICADV)のサイドイベントにおいて、ビジネス活動の持続性に関連した事項はザンビアにとって重要であると述べた。

2. “サタ大統領、日本の投資を呼びかける”(Times, 4日)
TICADV出席のため訪日していたサタ大統領は、6月3日の安倍総理との二国間首脳会談において、日本の投資家にザンビアに来るよう呼びかけ、ザンビア政府はそのために十分な投資保護に努めると述べた。

3. “サタ大統領、鉄道分野における日本の支援を求める”(Post, 4日)
サタ大統領は日本政府に対して、ザンビアの鉄道分野における日本からの技術移転を求めた。一方、Gustave Assah(特活)TICAD市民フォーラム(Civic Commission for Africa: CCA)代表はアフリカ諸国の代表に対して、日本によるTICADV関連の320億円の支援を、地域社会が衰退・弱体化を招くプロジェクトに今後5年間費やすことがないよう呼びかけた。

4. “ザンビア政府、年率8%の経済成長率を目指す”(Post, 7日)
キース・ムカタ財務副大臣は、ザンビア政府が今後5年間で年率8%の経済成長率を目指し、中期的には(2.5年間で)5%程度の安定したインフレ率を目標とするとし、高い経済成長率と低いインフレ率が国の貧困削減のために必要であると述べた。

5. “ザンビア中央銀行、柔軟性のある手頃な金融サービスを求める”(Times, 11日)
ザンビア中央銀行(BOZ)は、持続的な経済成長を達成するために、金融セクターに対して利用可能で手頃なサービスを提供するよう求めた。
First National Bank(FNB)は、ザンビアの経済が域内での投資の最優先エリアであると述べ、またトウキヤ・カンカサ・マブラBOZ副総裁は、ザンビアの経済成長に資するサービスの提供に向けて、BOZが引き続き金融セクターを支援すると述べた。

6. “ザンビアへの直接投資(FDI)、16億米ドルに増額”(Times, 13日)
ステファン・ムフサ商業通商産業次官は、ザンビア開発庁(ZDA)の記録によるとザンビアに流入する直接投資額が2012年に推定16億米ドルとなり、2011年の11億米ドルを上回る見込みであると述べた。

7. “ストレラ米国大使、ザンビアに対して最高の賞賛”(Daily, 14日)
マーク・ストレラ駐ザンビア米国大使は、ザンビアがアフリカ諸国の中で、生活及び仕事をする環境として最も優れた国の一つであると賞賛した。外交官として29年間のキャリアを有する同大使は、ザンビアでの経験がおそらく人生の中で最も充実した素晴らしい経験となったであろうと述べた。

8. “ザンビア、平和な国ランキングの第4位に”(Times, 15日)
国際研究機関である世界平和研究所(Institute for Economics and Peace)が毎年公表している世界平和度指数(Global Peace Index: GPI)の2013年ランキングで、ザンビアはアフリカ諸国で第4位、世界で50位以内(第48位)に位置していることが明らかになった。同ランキングは、世界の治安状況や紛争・軍事動向に関する分析結果を基にしており、2013年6月に発表されたレポートで、ザンビアはアフリカ諸国中ではモーリシャス(1位)、ボツワナ(2位)、ナミビア(3位)につぐ第4位にランクインしている。

9. “ザンビア、税制改革を検討すべき”(Times, 19日)
2013年Economic Report on Africanでは、ザンビアが経済の多様化を促進し、他の産業の発展に繋がるよう銅関連の歳入を増やすために、税制改革をすべきと指摘している。2013年Economic Report on Africanは、国連アフリカ経済委員会(United Nations Economic Commission on Africa: UNECA)とアフリカ連合(African Union: AU)により公表されたもので、2013年は『コモディティの最大限の活用を目指す: 経済成長、雇用創出、経済変容に向けた産業化』とのテーマのもとで作成された。

10. “2013年予算の執行状況、良好”(Post, 26日)
フレドゥソン・ヤンバ財務官によると、2013年予算の執行状況は良好である。本年9月から実施予定の公務員給与引き上げを継続させるために、税収入の増額と偶発的な資金が用いられるであろうと述べた。

11. “予算政策立案は不可欠 - チクワンダ財務大臣”(Daily, 28日)
アレクサンダー・チクワンダ財務大臣は、各種プログラムやプロジェクトが包括的な評価システムを通じて十分に査定され、効率的にモニタリングされることを確かにするための予算政策立案が重要であると述べた。同大臣は、ここ数年間、予算の立案及び編成過程において、包括的で明確な指針が欠如していたと述べた。また予算政策案は、透明性と説明責任を高め、根拠に基づいた政策決定プロセスの基礎を提供すると述べた。